



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北の **かなめ**

vol. 21

2012.12.27

特集：砲撃音に係る住宅防音事業

- ・ 防衛政策の講話
- ・ 目米ガイドラインで実動訓練
- ・ 航空自衛隊松島基地の復旧工事
- ・ 局内トピックス
- ・ インフォメーション

2012 SENDAI 光のページェント (宮城県仙台市)

がんばろう!東北



防衛省東北防衛局編集委員会編集発行

宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15

TEL 022-297-8208

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>



— 演習に伴う影響を軽減するため —

特集

砲撃音に係る住宅防音事業



△ 岩手山中演習場の砲撃訓練

防衛省は、演習場での頻繁な射撃訓練によって生じる砲撃音騒音障害について、その障害を防止、軽減するために住宅防音工事を実施しています。今回は、砲撃音に係る住宅防音事業について特集しました。

住宅防音区域の指定

岩手山中演習場では、年間を通して榴弾砲や迫撃砲、戦車砲、機関銃等による射撃訓練が行われております。

防衛省は、同演習場周辺の住民の皆様への砲撃音等による影響を軽減するため、騒音の著しい区域に居住されている方の住宅を対象に、今年度から住宅防音工事の助成を行うこととし、平成24年5月17日に、住宅防音工事の助成対象となる区域が防衛大臣により指定、公告されました。



問い合わせ先：仙台市宮城野区五輪一丁目3番15号 仙台第三合同庁舎 6階
東北防衛局 企画部 防音対策課 住宅防音係 (電話) 022-297-8216

砲撃音に係る住宅防音事業

砲撃音に係る住宅防音事業は、自衛隊等の砲撃を主とする射撃、爆撃その他火薬類の使用の頻繁な実施により生ずる騒音障害が著しいと認められる防衛施設の周辺の区域において、当該区域指定の際に所在する住宅の所有者などが、その障害を防止、軽減するため住宅防音工事を実施する場合は、その工事に對し防衛省が補助金を交付するものです。



施工対象区域	81 L _{Cden} 以上の住宅防音区域
屋根	在来のまま
天井	在来天井を撤去し、防音天井に改造
壁	在来壁を撤去し、防音壁に改造
外部開口部	防音サッシの取り付け
内部開口部	防音建具(襖、ガラス戸等)の取り付け
床	原則として在来のまま
空気調和設備	防音対象室に換気扇、エアコンを設置。ただし、既存に設置されていれば対象外
その他	防音工事に伴う必要な工事

※L_{Cden}とは「Day Evening Night Average C Weighted Sound Pressure Level」(C特性時間帯補正等音圧レベル)の略で、砲撃音騒音の「うるささ」を表す単位です。
航空機騒音の評価方法にならい、1日に発生した砲撃音の総エネルギー量を1日で平均し、砲撃音の特性である衝撃性や低周波の影響の補正を行ったものです。

【陸上自衛隊 岩手山中演習場】

岩手山中演習場は、日本百名山に選出された岩手山(標高2,038m)の東側中腹の岩手県八幡平市及び滝沢村にまたがって所在しています。

同演習場は、昭和32年から陸上自衛隊が使用を開始し、青森県、秋田県及び岩手県を管轄する第9師団隷下の各部隊のほか、東北方面隊等の部隊により各種の射撃訓練等が行われています。

また、昭和59年度からは自衛隊と米軍による共同訓練が行われています。



△ 岩手山中演習場に配備されている74式戦車

一担当者の声

自衛隊等の訓練により発生する騒音は、工事現場や車両の通行により発生する騒音とは違い、防衛施設が存在する限り発生するものです。

私は、平成24年4月から自衛隊等の演習場や飛行場周辺の住宅防音区域内に所在する住宅の防音工事への助成業務を担当しています。

担当してからまだ数ヶ月と日は浅いのですが、防音工事を行う住宅の現地調査の際、住民の方から長年の苦痛から解放されるとして安堵の表情で感謝の言葉をいただくと、騒音の影響を少しでも早く防止・軽減できるように、日々の業務に努めていかなければならないと感じています。



(防音対策課 大泉 誠)



「日米ガイドライン」とは、日本国内で、合衆国軍隊が使用する施設・区域の外において、航空機が墜落等した際に適用される方針及び手続きを定めたもので、事故現場に内周規制線と外周規制線を設け、内周規制線では日米共同により、外周規制線ではもっぱら日本側当局により現場管理・立ち入り規制を行うものです。

—航空事故を想定した—

日米ガイドラインで 実動訓練

△ 負傷した住民等の応急措置



△ 事故機搭乗員救出作業

平成24年10月5日、当局は青森県三沢市の三沢漁港地区において実施された、日米ガイドラインに基づく実動訓練に参加しました。

日米合同での実動訓練は二度目で、今回の訓練では、飛行中の米軍所属のヘリコプターが、機体の異常により三沢漁港に緊急着陸する際、落下した部品が停泊していた漁船を直撃し、船員は海に投げ出され船は沈没、更には、ヘリコプター搭乗員が脱出した直後に炎上したとの想定の下、110番通報等により事故発生を認知した日米当局が連携し、「日米ガイドライン」に基づいた初動活動での役割を確認しました。

今回の訓練では、警察・米軍憲兵隊による現場周辺への立ち入り規制、消火隊による発煙筒を焚いた乗用車を事故機に見立てた、消火活動及び搭乗員や巻き添えになり負傷した住民等の応急措置、ま

日米合同実動訓練

平成24年10月5日、当局は青森県三沢市の三沢漁港地区において実施された、日米ガイドラインに基づく実動訓練に参加しました。

三沢飛行場周辺 航空事故連絡協議会

平成24年10月12日、青森県三沢市の三沢市国際交流教育センターにおいて平成24年度三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会を開催しました。

協議会では、始めに野中企画部長が主催者挨拶をした後、青森県警察本部署課の佐藤高正地域安全係長から「日米ガイドライン実動訓練について」と題し、訓練成果と課題について、また、海上保安庁八戸海上保安部の宮脇勉警備救難課長から「海上保安庁における救助活動について」と題し、実際に行った救助活動での困難性や特殊救難隊の業務等について説明を行いました。



△ 野中企画部長挨拶

講師を派遣します

防衛政策の講話



平成24年11月14日、宮城地方協力本部主催の「市民防衛講座」において、東北防衛局長として初めて講演しました。



△ 笹木自衛隊宮城地方協力本部長



△ 中村東北防衛局長

市民防衛講座は、防衛省・自衛隊の活動に対する地域住民の理解促進を目的として、自衛隊宮城地方協力本部が主催し定期的に行っているものです。当日は、主催者である笹木明仁自衛隊宮城地方協力本部長の開催挨拶の後、中村吉利東北防衛局長が「米軍再編について」と題して、在日米軍再編の概要、本土及び沖縄における米軍再編、在沖米海兵隊のグアム移転、米軍再編関係予算等について、これまでの経緯や現状等を含め、きめ細やかにかつ丁寧に説明しました。

質疑応答では、今後の中国の動向、米軍の再編による今後のわが国の防衛と安全保障への影響等についての質問が寄せられましたが、「再編を着実にすすめ、

日米関係を盤石なものにしていくことが重要である。」旨の回答に来場者の方々が、うなずいていました。

また、講演後回収されたアンケートには、「多面的な米軍再編や、同盟国である米国の状況をよく理解できた。」「国際情勢の話をもっと聞きたい。」等の意見が多数寄せられ、本講演が防衛問題について考える良い機会となったことが窺われました。



■ 防衛政策の広報

東北防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動状況などについて、広く地域住民の理解と協力を得るため、東北地方各地において開催している防衛セミナー、自衛隊の創立記念日や艦艇広報での防衛政策パンフレットの配布やパネル展示による広報活動、東北コミュニティFMネットワークのコミュニティFM放送局23局での「防衛省・東北防衛局がおくる日本の防衛Q & A」の配信など様々な広報活動を行っております。

また、当局職員を講師として派遣し、防衛政策や自衛隊の活動状況などについての講演も行っております

ので、東北各地の自治体や高校・大学で講話を聞きたいとのご要望があれば、お気軽にご相談ください。

連絡先：東北防衛局 企画部 地方調整課
地方協力確保室 電話022-297-8212

■ 市民防衛講座

防衛省・自衛隊の活動に対する地域住民の理解促進を目的として、自衛隊宮城地方協力本部が主催し定期的に行っています。

東北防衛局内のトピックスとして、「環境川柳の大臣表彰」と「局内交流イベント」の2件をご紹介します。

環境川柳で防衛大臣表彰

最優秀作品

「窓あけて 風をつまみに ビール飲む」

東北防衛局総務部総務課の熊谷伸子適格性付与専門官は、防衛省全職員を対象とした防衛省環境川柳に応募したところ、約4万2千点の中から「最優秀賞」に選ばれました。

平成24年11月19日、東北防衛局長から防衛大臣表彰状の授与が行われました。

■ 防衛省環境川柳

防衛省では、平成13年度から、環境省が環境月間と定めた6月を「防衛省環境月間」として、防衛省職員の環境保全意識の高揚を図るべく「防衛省環境川柳」の募集等を行っています。



△ 熊谷伸子適格性付与専門官

(受賞者のコメント)

人生初の川柳で、このような賞をいただき、ただただ驚いております。

この五七五は、朝、職場でパソコンを立ち上げ、ポーッとしているときに舞い降りてきたものです。

我が家にはエアコンがありませんが、それがよかったのかもしれない・・・。

局内の交流イベント

—職場環境の改善とコミュニケーションの場の提供—

東北防衛局では、「職場環境改善に係る意見交換会」として、各層（係員、係長）の職員が参集して自由な意見交換等を行いました。

この意見交換会の中で出てきた改善案の一つとして、「部を越えた交流イベントを行って欲しい。」との声に応じて、10月に「部対抗ボウリング大会」、11月には広瀬川の河原で「芋煮会」を行いました。

今回実施された交流イベントは、日頃、業務におい

て付き合いの少ない職員同士や、若手職員と幹部職員との間の良いコミュニケーションの場となりました。



△ 広瀬川の河原での芋煮会

■ 職場環境改善に係る意見交換会



△ 係長クラスの討議の様子

東北防衛局では、職場環境を良くするための意見交換会として、これまで係員クラスの自由な話し合いや、係長クラスの討議等を行っています。

「復旧工事に貢献した5企業に感謝状」

航空自衛隊松島基地の復旧工事



■ 復旧工事の発注

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた航空自衛隊松島基地は、災害復旧や防衛の観点から早急に機能の復旧が求められました。

そのため、東北防衛局は、震災直後の3月末、同基地の復旧工事（建築、土木、電気、機械及び通信の各工事）を発注しました。当時、まだまだ混乱が続く中であって、大豊建設（株）東北支店他4社が請け負いました。



△ 津波により被害を受けた大扉



△ 大扉の設置作業



△ 復旧工事完了後の救難格納庫

これらの復旧工事は、震災直後の資材の調達や輸送、人材の確保にも困難を極める厳しい状況の中、平成24年3月に全ての工事が完了しました。

■ 感謝状の贈呈

防衛省装備施設本部は、これらの復旧工事を請け負った企業（5社）に対して、強い責任感を持って工事を完成させ、当該基地機能を早期に回復したことにより、自衛隊が行う災害派遣活動をはじめ被災地への救援物資等の迅速な輸送にも寄与するところ極めて大きく、その功績は誠に著しいものがあつたとして、平成24年11月2日、松本隆太郎装備施設本部長から感謝状の贈呈が行われました。

感謝状を授与された5企業

- ①大豊建設(株)東北支店：大隅健一支店長
- ② 榊橋本店：佐々木宏明社長
- ③日本リーテック(株)東北工務支社：吉川伸也支社長
- ④榊城口研究所東北支店：藤田雅弘前支店長
- ⑤池野通建(株)東北支店：今輝行支店長



△ 装備施設本部長感謝状受賞者



平成 24 年度在日米軍従業員永年勤続者表彰

平成 24 年 10 月 26 日、青森県三沢市に所在する米軍三沢基地内において、平成 24 年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われ、種市一正三沢市長をはじめとする来賓の方々や同基地の米軍人及び日本人従業員など多くの関係者が出席し、10 年、20 年及び 30 年の勤続者 64 名を祝福しました。

式典では、日米両国の国歌独唱、中村吉利東北防衛局長とスティーブン C. ウィリアムス米空軍第 35 戦闘航空団司令官の式辞に続き、被表彰者の代表に表彰状及び記念品が授与されました。



△ 表彰された永年勤続者

平成 24 年度感謝状の贈呈

－防衛大臣感謝状贈呈－

これまで青森県六ヶ所村長として永年にわたり六ヶ所村に所在する防衛施設の安定的な使用に積極的に協力された古川健治氏の功績に対し、平成 24 年 10 月 13 日ホテルグランドヒル市ヶ谷「瑠璃の間」において、森本敏防衛大臣から感謝状が贈呈されました。なお、当日は都合により参加できなかった古川村長の代理として、戸田衛副村長が出席されました。

－東北防衛局長感謝状贈呈－

所在する防衛施設の安定的な使用に積極的に協力された青森県むつ市長 宮下順一郎氏、青森県三沢市副市長 大塚和則氏及び前宮城県大衡村副村長 早坂繁利氏のこれまでの功績に対し、平成 24 年 11 月 1 日付で中村吉利東北防衛局長から感謝状と記念品が贈呈されました。



△ 宮下むつ市長

東北の自衛隊広報行事

自衛隊（東北管内）が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開 催 日	イ ベ ント 名	開 催 場 所	問 い 合 わ せ 先
1 月	陸	1 月 12 日 (土) 第 39 回 新春たこ作り・たこ上げ大会	霞目駐屯地 (仙台市)	霞目駐屯地広報室 022-286-3101 (301)
	空	1 月 19 日 (土) 大湊分屯基地開庁 57 周年記念行事 (演奏会)	下北文化会館 (むつ市)	大湊分屯基地総務班 0175-24-1191 (203)
	陸	1 月 26 日 (土) 第 35 回福島自衛隊音楽の夕べ	福島県文化センター (福島市)	福島駐屯地広報室 024-593-1212 (204)
2 月	海	2 月 9 日 (土) 海上自衛隊 大湊音楽隊第 35 回定期演奏会	リンクステーションホール青森 (青森市文化会館)	大湊地方総監部広報係 0175-24-1111 (2304)
	陸	2 月 23 日 (土) 第 6 師団定期演奏会	天童市市民文化会館 (天童市)	第 6 師団司令部広報室 0237-48-1151 (5217)
3 月	陸	3 月 2 日 (土) 第 9 師団第 35 回定期演奏会	リンクステーションホール青森 (青森市文化会館)	第 9 師団司令部広報室 017-781-0161 (259)
	陸	3 月 9 日 (土) 第 29 回自衛隊郡山音楽祭	郡山市民文化センター (郡山市)	郡山駐屯地広報班 024-951-0225 (284)
	空	3 月 16 日 (土) 北部航空音楽隊第 34 回定期演奏会	三沢市公会堂 (三沢市)	北部航空方面隊司令部広報班 0176-53-4121 (2320)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

表紙の写真は、宮城県仙台市の冬の風物詩「2012 SENDAI 光のページェント」です。27 回目を迎える今年のテーマは、「Be smile ～上を向いて歩こう～」ということです。夢と希望の光が輝いています。